子育て情報（園長先生の子育てひろば）

令和２年度　１月
椙山女学園大学附属幼稚園

新年あけましておめでとうございます

園長　山中　文

どんな時でも、必ず新年はやってきてくれますね。良い新年をお迎えでしょうか。

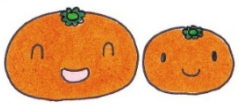
今年は丑年です。干支と動物は必ずしも関係しないとも聞きますが、ひとまず牛が主役の年ですね。園だよりにも書いたのですが、牛はとても身近な動物ですが、子どもの歌などでこれとすぐに思いつくものがありません。「ねこ」や「犬」、「ぞう」や「くま」だってすぐ思いつく歌があるのに、不思議です。

と思っていたら、「牛に引かれて善光寺参り」という昔話を思い出しました。強欲な老婆が布を取っていった牛を追いかけるうちに善光寺につき、それから信心深くなった、というお話でした。菅原道真公と牛に関してもたくさん逸話があるようです。かつては、田畑を耕したり、人や荷物を運んだりと、身のまわりの生活にはなくてはならない動物だったことでしょう。そのため、お話もたくさん残っているように思います。

しかし、今では、身の回りで飼い牛を見るということはほとんどなくなりました。もう 35 年ほど前、少し田舎の大学に赴任した時、大学の門の前のお宅に牛舎があり、そこから牛が引かれて連れられていくところにいきなり出くわして、驚いたことがあります。その時でさえ、こんなところに牛がと思ったくらいですから、今の子どもたちが牛に出あうとすると、牧場に行った時くらいでしょうか。

小学校の教科書に、下のような詩が載っていますが、このなぞなぞのような詩がわかるほど牛を観察することも少なくなっているかもしれません。「おっぱいににんじん」「しっぽにねずみ」「はなにドーナツ」「からだにふんわりくも」なあんて、今の子どもたちはどうやって想像するかなと思うと、ちょっと聞いてみたくなります。

うしさん　うふふ　吉田定一

うしさん　うふふ
おっぱいに　にんじん　ついてるよ
しっぽに　ねずみが　ぶらさがってる
うふふ　はなに　ドーナツ　ついてる
からだに　ふんわり　くも　うかんでる
うしさん　うふふ

昔から生活が変わっている分、いろんな話や詩、歌など、子どもたちが聞いてどのようにイメージするか、聞いてみると、思いがけないジェネレーションギャップがみつかるかもしれません。楽しいなぞなぞにして、聞いてみられるのはいかがでしょう。